

活動報告

阪南大学キャリアゼミ事業

阪南大学流通学部の片渕卓志教授よりキャリアゼミ事業についての協力依頼がありました。テーマは「気候変動をもたらす諸問題とその原因となる温室効果ガスを出さない市民・地域による自然エネルギー発電所に関する実態調査」です。

3月28日には和歌山県龍神温泉で行われたゼミ合宿で温暖化と自然エネルギーについてZOOMで講演を行いました。4月28日には片渕先生とゼミ生4名がPARE事務所を訪れ、自己紹介やPAREの取り組みの紹介、手回し発電機を使った発電体験などを行いました。5月28日の泉大津汐見市民共同発電所の草刈りには先生とゼミ生1名が参加しました。

この後、6月30日に泉大津汐見市民共同発電所の見学と泉大津市環境課からゼロカーボンシティの取り組みについての説明を受けます。



4月28日 片渕先生とゼミ生が来局

また、7月20日に原発ゼロの会大阪が企画している和歌山県有田川町の小水力発電所とバイオマス発電所の見学にも参加する予定です。

泉大津汐見発電所の草刈り

5月28日（日）にカイヅカイブキ剪定と草刈りを行いました。企画部会員、スタッフ6名と阪南大学の先生と学生1名が参加しました。

2022年10月末以来7カ月ぶりの作業でした。カイヅカイブキ剪定は、昨年5月から作業を開始し、草刈りごとに剪定を行なっています。あと1・2回で一旦の作業を終えそうです。

草刈りはパネルの下を刈ることができませんでした。ボランティア（企画部会員）も段々と高齢化してきており、長時間の作業は体力的に大変になってきています。参加人数を増やすか、1回当たりの作業量を減らして回数を増やす、新たな機器の導入も検討していくなど、対策を進めていきたいと思ひます。

今回、草刈りをしたあとに、発電所東側の一部に、防草シートを張りました。どれくらいの効果があるのか検証して今後の対応を検討していきたいと思ひます。

